

2020年6月30日

各 位

株式会社 みちのく銀行

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に係る成果指標（K P I）について

みちのく銀行（頭取 藤澤 貴之）は、2017年6月に「〈みちのく銀行〉お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定し、同年8月に本取組方針に基づく活動を評価・検証するための成果指標（K P I）を作成し公表いたしました。

今般、2019年度の取組状況および成果指標（K P I）の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

当行では今後も取組状況を定期的に検証し、活動の改善を図ってまいります。

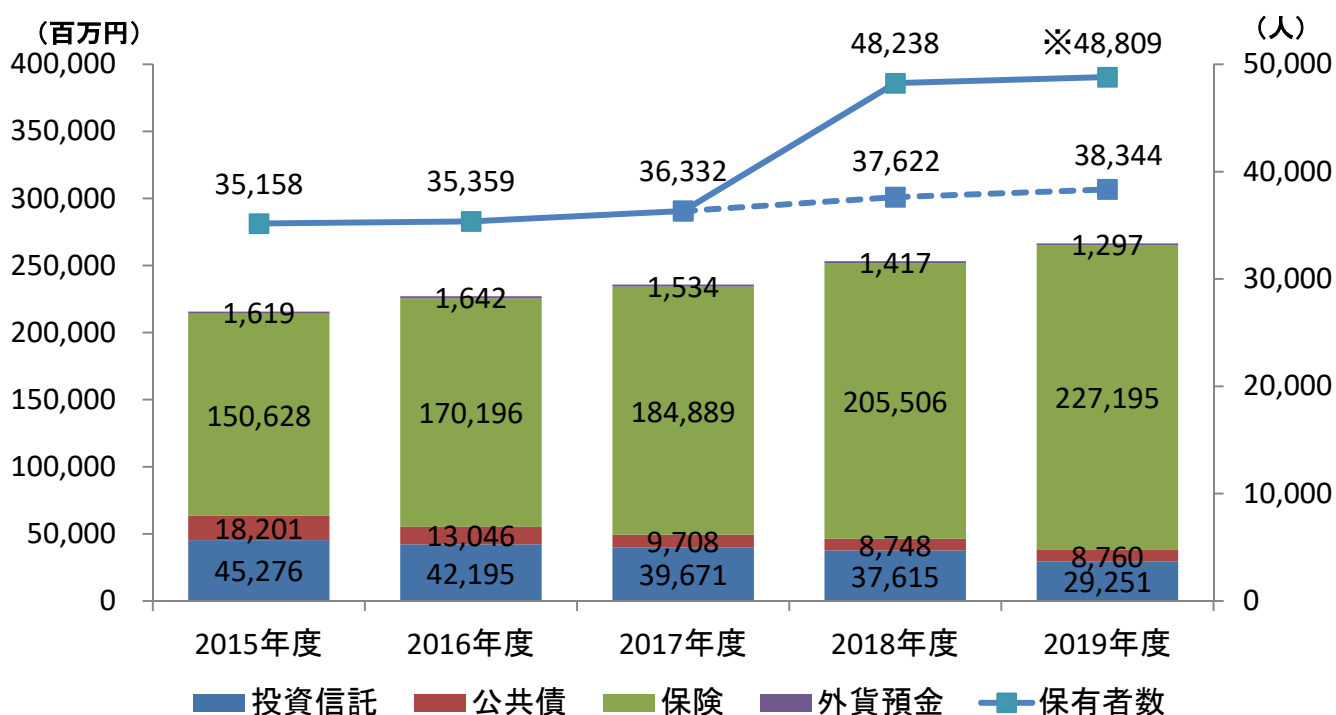
以 上

お客さま本位の提案活動の実施と情報提供の実践

資産形成への支援実績（金融商品の残高および保有者数）

■金融商品の残高および保有者数については増加基調にあります。
 今後も、お客さまそれぞれのニーズに沿ったコンサルティングを実践してまいります。

金融商品残高および保有者数推移



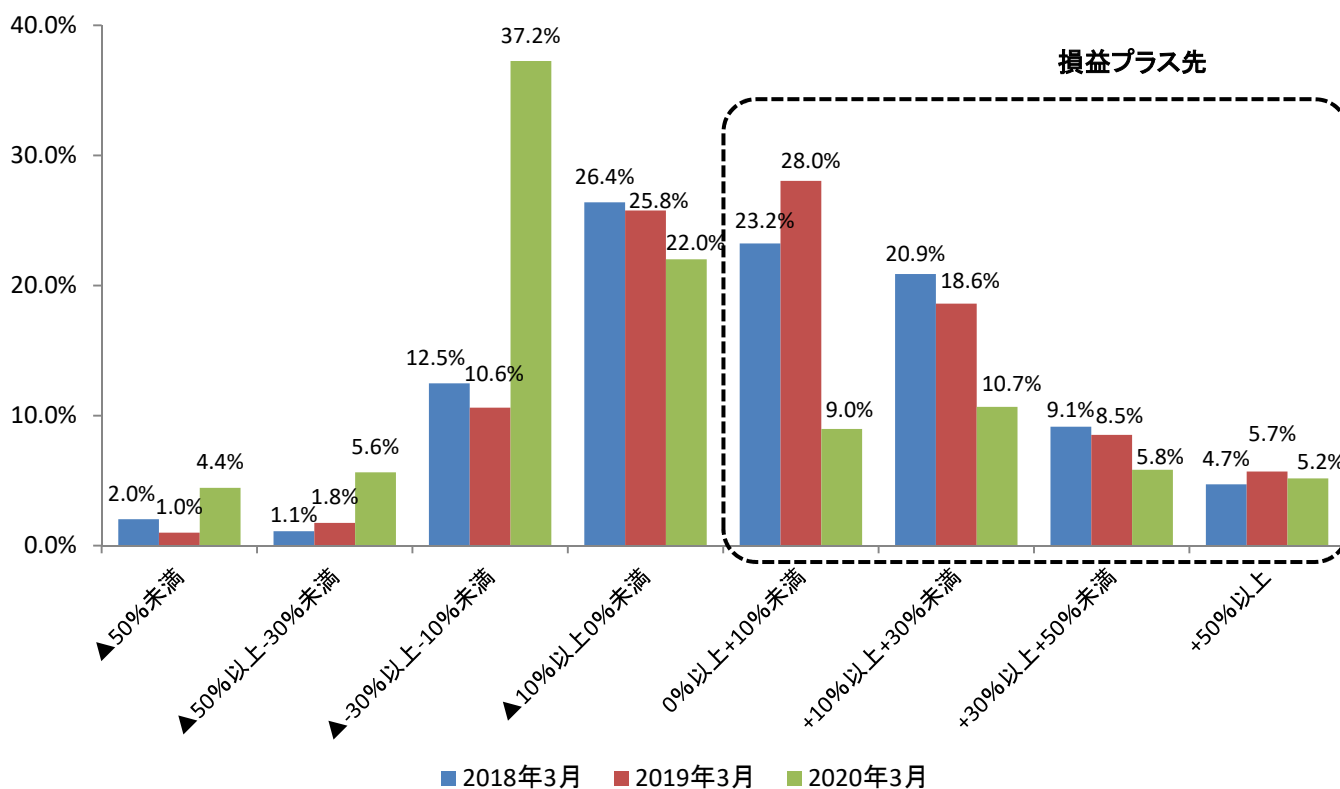
※金融商品の保有者数は、2018年度分より平準払い保険契約者を含めました。
 なお、平準払い保険契約者を除いた保有者数の推移は点線を表示しております。

お客さま本位の提案活動の実施と情報提供の実践

投資信託運用損益別お客さま比率（共通KPI）

- 2020年3月末時点で投資信託の運用損益がプラスになっているお客さまの割合は30.8%となり、前年比で30ポイント減少しております。
- お客さまに対しては、市場環境の変化等を踏まえつつ、適切な提案およびアフターフォローを行ってまいります。

運用損益別お客さま比率



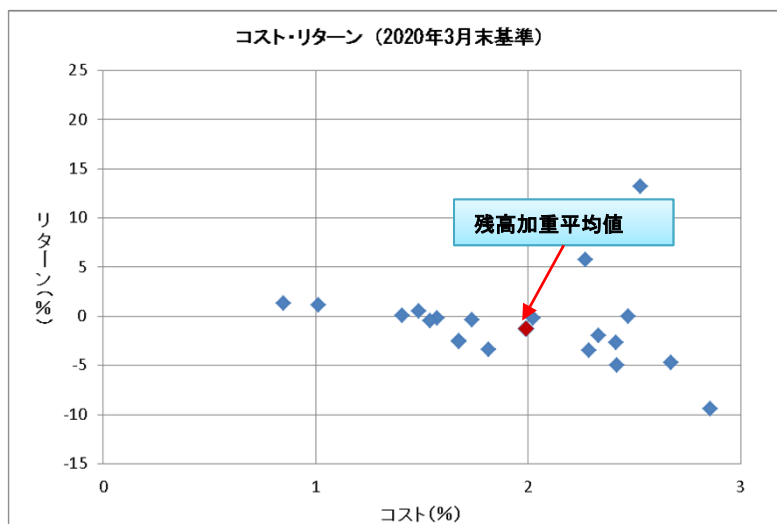
運用損益プラス先比率

2020年3月	30.8%
2019年3月	60.8%
2018年3月	57.9%

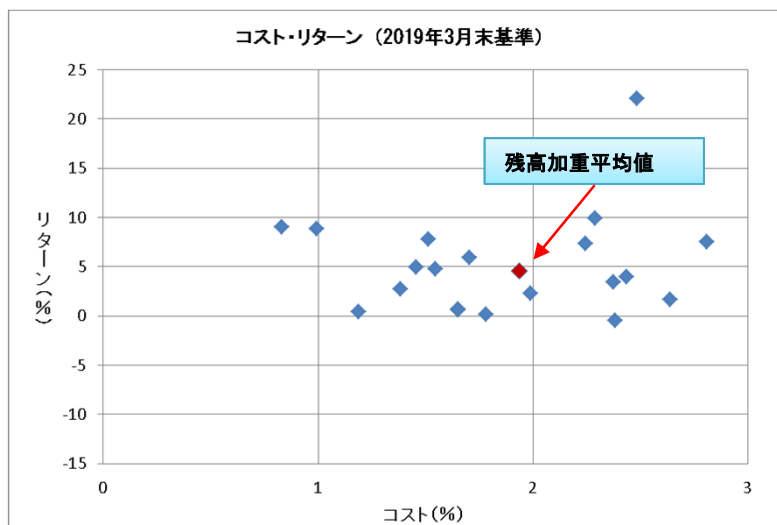
お客さま本位の提案活動の実施と情報提供の実践

投資信託預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」(共通KPI)

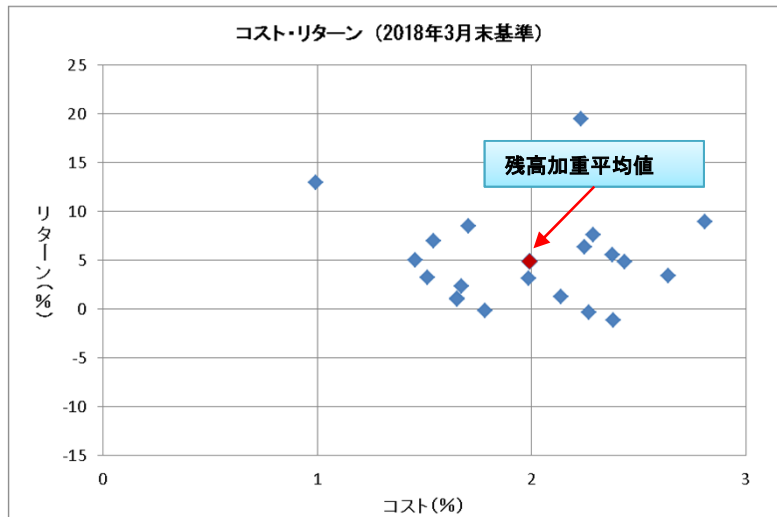
■残高上位20銘柄の平均コストは1.99%で前年比で0.05ポイント上昇いたしました。



残高加重平均値
コスト : 1.99%
リターン : ▲1.25%



残高加重平均値
コスト : 1.94%
リターン : 4.58%

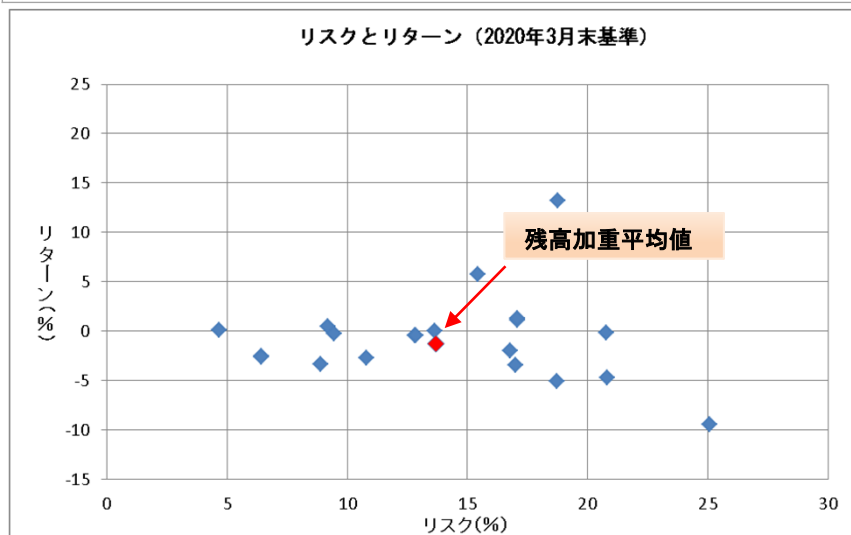


残高加重平均値
コスト : 1.99%
リターン : 4.90%

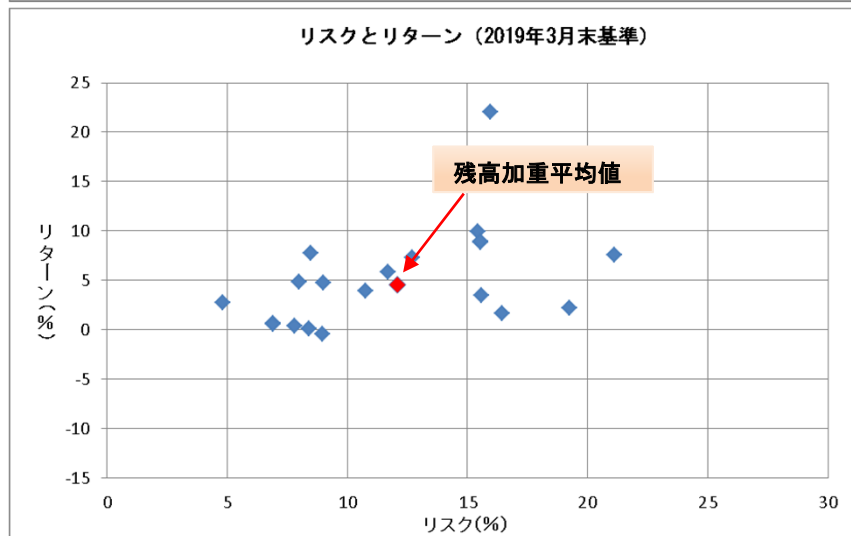
お客さま本位の提案活動の実施と情報提供の実践

投資信託預り残高上位20銘柄の「リスク・リターン」(共通KPI)

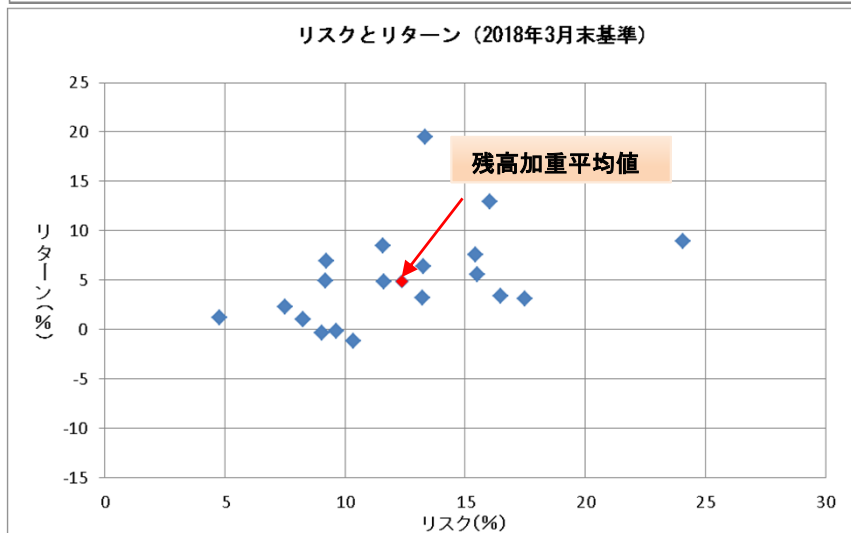
■残高上位20銘柄の平均リスクは13.68%、平均リターンは▲1.25%となりました。



残高加重平均値
 リスク : 13.68%
 リターン : ▲1.25%



残高加重平均値
 リスク : 12.08%
 リターン : 4.58%



残高加重平均値
 リスク : 12.36%
 リターン : 4.90%

【参考】投資信託預かり残高上位20銘柄(2020年3月末基準)

(単位:%)

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	1.67	6.41	▲ 2.54
2	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.42	18.72	▲ 5.02
3	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.33	16.76	▲ 1.93
4	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.47	13.62	0.00
5	日興インデックスファンド225	1.01	17.09	1.13
6	ニッセイ健康応援ファンド	2.27	15.43	5.79
7	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49	9.20	0.53
8	ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)	2.68	20.82	▲ 4.73
9	のむらップ・ファンド(普通型)	1.57	9.46	▲ 0.21
10	DIAM ワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)	2.29	17.01	▲ 3.46
11	ニッセイJリートオープン(毎月分配型)	1.54	12.81	▲ 0.44
12	のむらップ・ファンド(積極型)	1.74	12.87	▲ 0.39
13	MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)	1.82	8.90	▲ 3.36
14	のむらップ・ファンド(保守型)	1.41	4.68	0.09
15	SMT 日経225インデックス・オープン	0.85	17.08	1.31
16	ピクテ資源国ソブリン・ファンド(毎月分配型)	2.42	10.80	▲ 2.70
17	新成長株ファンド	2.53	18.75	13.20
18	高金利先進国債券オープン(資産成長型)	1.67	6.41	▲ 2.58
19	HSBC インド オープン	2.86	25.06	▲ 9.41
20	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	2.02	20.78	▲ 0.18

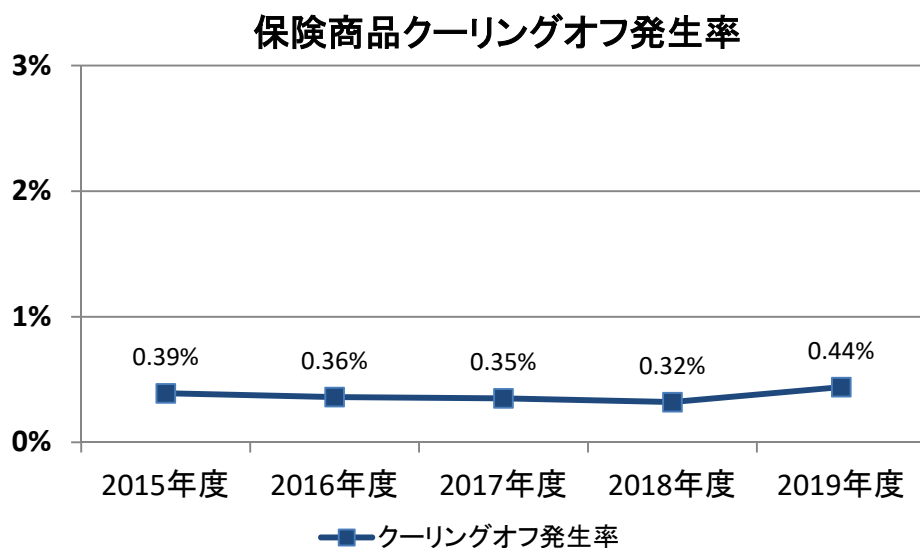
※2020年3月末時点で設定後5年以上の投資信託のみ表示しています。

- コスト: 当行の投資信託申込手数料率の1/5と信託報酬率(年率)の合計
- リスク: 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)
- リターン: 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

お客さま本位の提案活動の実施と情報提供の実践

保険商品クーリングオフ発生率

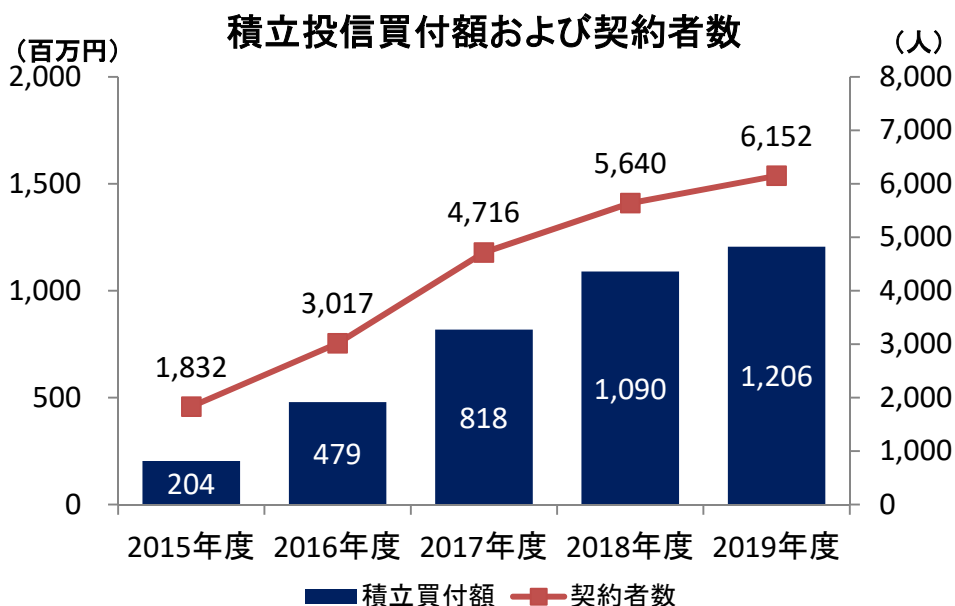
- 保険商品のクーリングオフの発生については低水準で推移しております。
- 今後も、お客さまそれぞれのニーズに合致した商品の提案および分かりやすい商品説明を実践してまいります。



適切な投資判断をしていただくための体制構築

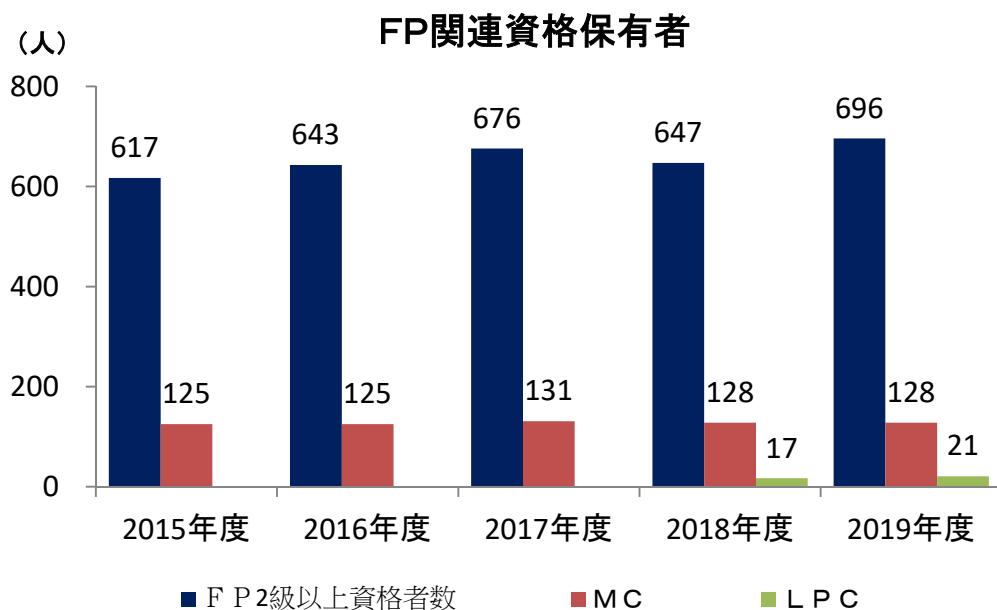
つみたて投信買付額および契約者数推移

- 「長期・積立・分散投資」の運用手法および「つみたてNISA」の活用を提案した結果、買付件数・買付額とも増加しております。
- 今後も資産形成層のお客さまを中心に中長期的な資産形成の支援を行ってまいります。



お客さまの将来を見据えたコンサルティングスキルの向上

- F P 2 級以上の資格保有者および行内資格のマネーコンサルタント (MC) の数は一定水準を保っております。2018年度よりMCに加えて、ライフプランニングコンサルタント (L P C) を育成しています。
- 今後もお客さまへ最適なお提案ができるよう人財教育を継続的に行い、コンサルティングスキルの向上に努めます。



※LPCとは相続対策や資産形成に関する専門知識やスキルを兼ね備えた人財です。

お客様の資産形成に資する金融リテラシーの向上

お客様向けセミナーの開催状況

- 若年層・現役世代のお客様に資産形成をテーマとした情報をご提供させていただくため、休日・夜間セミナーを積極的に開催いたしました。
- 今後も、お客様のライフプランに合わせて、さまざまなテーマでセミナーを開催いたします。

お客様向けセミナー開催状況

開催時期	セミナーテーマ	会場数	参加人数
2019年5月	「ビクテ資産運用セミナー」 ～不透明な市場環境だからこそ伝えたい資産構築の考え方～	1会場	56名
2019年5月	つみたてNISA&iDeCo	1会場	6名
2019年6月	つみたてNISA&iDeCo	1会場	11名
2019年6月	iDeCo加入者向けセミナー	2会場	9名
2019年7月	つみたてNISA&iDeCo	2会場	15名
2019年9月	ライフプランニング資産形成	2会場	11名
2019年11月	住宅ローンと家計の見直し	1会場	6名
2019年12月	つみたてNISA&iDeCo	2会場	18名
2020年1月	想いを伝える相続・贈与	2会場	16名
2020年2月	つみたてNISA&iDeCo	2会場	18名

	セミナー開催回数
2019年度	16回
2018年度	17回
2017年度	13回